

「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」

報告書

令和5年3月

名古屋市

目 次

1	開催概要.....	1
	（1）趣旨.....	1
	（2）会場での説明会.....	1
2	会場での説明会の記録.....	2
	（1）説明会（会場：鯉城ホール）の記録.....	2
3	アンケート結果.....	21
	（1）アンケート集計.....	21
	（2）アンケート内容.....	23
	①説明会アンケート用紙.....	23
	②アンケート内容.....	24

※ 本報告書の中で個人名にあたる箇所については、名古屋市個人情報保護条例第 11 条第 1 項に基づき、（個人名）と記載を変更している。

1 開催概要

(1) 趣旨

令和5年1月に「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を開催するものである。

(2) 会場での説明会

市内1会場で実施。各会場で学芸員による講演、本市からの説明、質疑応答を実施した。

①日時、会場、参加人数

日付	時間	会場	参加人数
令和5年1月21日(土)	13:30~15:30	鯉城ホール	217名

②司会者

株式会社都市研究所スペース代表取締役 浅野健氏

③次第

1. 開会
2. 学芸員による講演
3. 名古屋市からの説明
4. 質疑応答
5. 閉会

④会場の様子



質疑応答



おもてなし武将隊によるイベントの告知の様子

2 会場での説明会の記録

(1) 説明会（会場：鯨城ホール）の記録

① 開会

司会

お待たせいたしました。本日はお忙しい中、ご来場いただきまして誠にありがとうございます。只今より「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を開会いたします。私は本日の司会進行を務めます、浅野と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。

始めに、本日の市民向け説明会の進行についてご説明いたします。まず、名古屋城調査研究センター所長による講演を、30分程行います。その後、名古屋城天守閣木造復元事業の状況について名古屋市からの説明を、30分程行います。休憩を挟みまして、会場の皆様から名古屋城天守閣木造復元事業についてのご質問をお伺いいたします。ご質問のお時間には限りがございますので、進行にご協力くださいますようお願いいたします。説明会は午後3時30分ごろ終了予定となっております。

次に、本日お配りした資料についてご案内いたします。受付で本日の説明会冊子、資料冊子、アンケート用紙をお配りしております。説明内容はスクリーンで映写いたしますが、お手元の資料でもご確認ください。なお、説明会冊子とスクリーンに映写するものが一部異なる箇所もありますが、スクリーンに映写する資料は、後日、ウェブサイトにて掲載いたします。また、終了後の退場は、混雑緩和のため、会場の前半分と後半分を分けまして、後ろの方から退場をご案内させていただきます。なお、報道機関による取材が入っている他、記録撮影を行っておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。名古屋市からの説明及び質疑応答につきましては、録画を行います。後日ウェブにて、動画を公開します。

始めに開会にあたりまして、名古屋市長河村たかしより、一言ご挨拶を申し上げます。

河村名古屋市長

はい、ありがとうございます。今日はどえらいぎょうさんの方で、こんだけ集まったのは初めてですね、これは、という事でございます。まあ名古屋のお城、国宝1号ですからね、これ。2号が姫路城なんです。昭和5年ですから、昭和7年にそれを受けて、名工大の当時の学長、それから市役所の職員、その他の方が図面を、詳細な図面を残したという事でございます。史実通りに復元できるまあただ1つの、世界中でですねこれ、お城だという事でございます。わしも若作りしとるけど、まあはや74でねこれ、あの世が近づいてきたもんだで。やっぱり次の時代にやっぱりそういう、名古屋と言ったら誰に聞いても何か文化的なシンボルは何だと、それは名古屋城と、ほぼ誰に聞いてもいいますそうやって。やっぱりそれが本物で造れると、ただ偶然じゃなくて、今言った図面まできちんと残してくれたという、遺産というか財産は、次の世代に1000年は引き継いでいきたい。戦争があつてはいかんですよ、名古屋も残しとったんだけど残念ながらまあ、戦争で燃えちゃった、という事で、家康が今NHKでやっておりますけど。多分、これ記録には無いんですけど、多分、家康さんが造った城ですけど、家康さんは一番上に上がったんじゃないかというふうに思われますよね、造った城ですから。まあ、という事でございます。色々あとでご意見も伺います。わしもまっとしゃべりたいけど、この辺にしておきますけど、皆さんで

名古屋の宝を残すのが名古屋人としての務めだと、社会的責務だという気持ちでやっておりますので、是非また色々ご意見があったらどうぞお寄せください。まあ今日はようおいでいただきまして、サンキューベリーマッチという事でございます。ありがとうございます。

② 名古屋城調査研究センター学芸員による講演

司会

それでは、名古屋城調査研究センター所長の服部英雄より、「名古屋城天守の秘密」と題して講演を行います。

—学芸員による講演—

③ 名古屋市からの説明

司会

ありがとうございました。続きまして、名古屋城総合事務所長上田より、名古屋城天守閣木造復元事業の状況について説明いたします。

上田名古屋城総合事務所長

名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所の所長、上田と申します。私からは名古屋城の天守閣の整備について、という事で、ご説明をさせていただきます。お手元にはより詳しい資料冊子もお配りしておりますので、併せてこちらもお覧いただければと存じます。

それではまず、名古屋城の価値と意義という事でございます。慶長15年、1610年に名古屋城の築城が始まり、同18年以降、名古屋城築城とともに、当時尾張の中心であった清須の街から、街ごと名古屋に引っ越し、先程先生も仰ってましたが「清須越」が行われまして、名古屋の街の原型となる碁盤割の城下町が作られました。いわば名古屋城は、現在の名古屋の都市形成と文化・芸能・産業のルーツといえると思います。また、焼失前の昭和初期には城郭として国宝第1号に指定をされています。ちなみに、当時の国宝の第2号が姫路城でございます。名古屋城は幾多の困難を乗り越えて400年以上に渡り尾張名古屋のシンボルとして親しまれております。

名古屋城は、文化財保護法における「特別史跡」に指定をされています。名古屋市では、平成30年度に「特別史跡名古屋城跡保存活用計画」を策定をしまして、名古屋城を後世へつなぐため、そうした保存、また魅力向上を図る活用、公開、更に保存と活用のための整備の3つの視点で取り組みを進めております。

また、「特別史跡名古屋城跡保存活用計画」に基づきまして、「名古屋城本丸・天守整備基本構想」を策定をいたしました。天守や本丸御殿、櫓や門で構成される「本丸」は、近世期最高水準の技術によりまして築城された名古屋城の要衝でありまして、本市はこの構想に基づいて本丸を往時の姿へ復元する事を目指しております。名古屋城は、徳川家康の命によって築城が開始され、以来260年に渡り尾張徳川家の居城としての役割を果たしましたが、明治期に入り、政府から廃城令が出されまして、多くの城郭が取り壊されたにもかかわらず、名古屋城は廃城される事なく日本城郭の見本として永久保存をされる事が決定されました。現在の本丸には、当時の姿を伝える石垣や建造物等がありまして、これらを大切に保存・管理していくとともに、戦災で失わ

れた建造物等を資料を元に復元をし、江戸期の本丸全体の空間を実体験できる場として整備をしていく方針でございます。

現在の本丸の状況をご覧くださいと、まず特別史跡名古屋城跡の本質的な価値を構成する要素として、江戸時代から残る石垣がございます。また赤枿で囲んだ西南隅櫓、東南隅櫓、本丸表二之門、旧二之丸東二之門は、江戸時代から残る建造物等として重要文化財に指定をされています。更に、昭和34年に鉄骨鉄筋コンクリートにより外観を復元された現天守、更に平成30年に江戸時代の寛永期の姿に完全復元された本丸御殿がございます。

こちらが本丸の将来構想図でございます。現在、天守の木造復元事業を進めておりますが、将来的には、この他にも焼失をした東北隅櫓や表一之門、東一之門、そして更に、それらをつなぐ多聞櫓、あるいは南と東にある本丸大手馬出と本丸搦手馬出等の再現を目指したいと考えております。

次に、「木造天守の意義」でございます。木造天守の意義として、特別史跡名古屋城跡の本質的価値の向上と理解の促進を掲げております。先人たちが残してくれた豊富な史資料によりまして復元を進めて、完成したあかつきには、東大寺の大仏殿に匹敵する規模の、世界最大級の高層木造建造物となるというふうに考えております。また木造復元事業は、伝統工法を実践する一大事業でありまして、ユネスコ無形文化遺産の代表一覧表に登録された木造建造物を受け継ぐための伝統技術の継承と実践の場となるというふうに考えております。

復元にあたっては、「調査研究に基づく史実に忠実な復元」とし、「遺構の保存に十分配慮した整備」を行う事、また「防災上の安全確保とバリアフリー」を実現する事を方針としております。名古屋城の天守に関しては、「昭和実測図」を始め豊富な資料が残されていますので、そういった史資料を丁寧に調査するとともに、現地調査等を通じて往時の天守の機能や役割をご理解いただけるようにしてまいりたいという風に考えております。また工事に際しましては天守台周辺石垣等遺構の保存に悪影響を及ぼす事の無いよう、十分な調査・検討のもと、万全の対策をとってまいります。また城内観覧者の安全に関わる防火、避難計画については、出火防止のためのセキュリティを始めとしまして、避難誘導等の運営体制、出火時の初期消火、火災発生時に発生する煙の排出、また避難に要する時間等の検証を行いまして、第三者機関の認定を取得するとともに、構造計画においても第三者機関の評定を取得して安全性と耐震性を確保してまいります。

次に「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画」についてご説明をいたします。まず、「経緯と進捗状況について」でございます。平成31年の4月に「現天守閣解体の現状変更許可申請」を文化庁に提出をし、同年の9月に文化庁から名古屋市に対しまして「申請に対する指摘事項」が示されました。その「指摘事項」への対応に向けて丁寧な調査・検討を行い、令和3年の5月及び令和4年5月の2回に渡って文化庁にその指摘に対する回答を提出をいたしました。その結果、令和4年の6月、文化庁から、「調査・検討が進捗したものと評価をできる」、また「解体と復元を一体とした全体計画をまとめる事が必要」との所見とご指導をいただきました。それに伴いまして、現在取りまとめを進めております「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画」、こちらはこの「解体と復元を一体とした全体計画」にあたるものでございます。

次に、「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画」の位置付けと構成についてご説明をさせていただきます。今後、木造天守の復元に向けた「現天守閣の解体と木造復元の現状変更許可申請手続き」、これを行っていく上では、文化庁の「復元検討委員会」で復元事業の妥当性について

てご議論をしていただく必要がございます。そのための資料となるのがこの整備基本計画でございます。この基本計画は、「第1章 木造天守復元の概要」から「第8章 復元計画と活用」まで全体8章に渡りまして復元計画についての詳細な記述をまとめる必要がございます。現在、文化庁とも相談をした上有識者会議に諮りながら、全8章の構成の内概ね第7章まで取りまとめが進んできたところでございます。

その中の主な課題と検討状況についてご説明をさせていただきます。まず、「石垣保存方針と基礎構造の方針」でございます。天守台の内側、穴蔵石垣の遺構の状況と安定状況の把握を目的としまして、穴蔵石垣の根石周辺及び背面の発掘調査を実施をしたところ、江戸期の遺構が残っている部分があるという事を把握した一方で、それらが適切な構造を有しておらず安定性が担保されているといい難い部分もあるという事がわかりまして、修復整備の検討も必要という風に考えております。また天守の基礎構造につきましては、天守台の遺構の保存が可能な構造等について有識者のご意見を踏まえまして、今後、第8章にまとめる予定でおります。ただ、現天守閣が存在をしている現状では調査等に限界がございますので、現天守閣の解体後に穴蔵石垣の全体的な発掘調査を行った上で、観覧者の安全確保の対策と基礎構造について、改めて具体的な方法を検討していく事としております。

次に「バリアフリーの方針」です。歴史的建造物を現代に復元するにあたり、今年度「史実に忠実な復元とバリアフリーの両立を実現」するための技術公募を実施いたしました。最優秀者の提案は、フェリー等の船舶内及び航空機搭乗機材への導入実績のある技術をベースに開発する昇降技術となっております。

ここからは、今後の流れについてご説明をさせていただきます。「木造天守整備基本計画」については、今年度中の取りまとめを目指して鋭意作業を進めておりまして、翌年度に文化庁に提出をする予定でございます。その後、文化庁の「復元検討委員会」での議論が開始されれば、「現状変更許可申請手続き」につながる大きな一歩となりまして、以降、「現状変更許可」を得て、現天守閣の解体工事及び木造天守の復元工事に着手していくという様な段取りで進んでまいります。

続きまして、「木材の調達及び保管状況」についてでございます。江戸時代には名古屋城の築城のために、裏木曾地域から大量の木材を調達したという記録が残されております。木造天守復元に使用する木材は、裏木曾地域を始めとする木材関係者さまのご協力のもと、全国各地から調達をしております。平成30年7月以降、令和3年度末までに2,071本の木材を調達いたしました。調達をした木材は、直接日光を、直射日光を防ぎまして、風通しが良い適切な環境で保管する事によって木材の品質を保つよう心掛けながら大切に保管をしております。

次に、また「機運醸成」についてご説明をさせていただきます。木造天守復元事業の機運を醸成するため、この事業への理解を深めていただく機会を設ける他、イベントブースや城内等の募金活動、また金シャチパートナー様からのご寄附やご支援等積極的にいただいております。皆様から頂戴しました大変貴重なご寄附につきましては、大切に今後も木造復元事業に活用していきたいという風に考えております。

本市といたしましては、復元事業の推進の取り組みといたしまして、今後も、文化庁や地元有識者様からの指導・ご助言に基づき適切に対応してまいるといふ事とともにですね、史跡全体の適切かつ厳格な保存を最優先にしまして、石垣等遺構に影響を及ぼす事の無いよう、慎重に事業

を進めてまいりたいというふうに考えております。最後になりましたが市民の皆さまの木造復元事業へのご理解がもっともっと深まるように今後ともしっかりと事業を進めまして、機運醸成に努めてまいりたいと存じますので、今後とも何卒皆様方のご支援を頂戴できますようよろしくお願ひ申し上げます。

大変簡単でございますけども、名古屋市からの木造天守復元に関する事業説明を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

④ 休憩

司会

ありがとうございました。

それでは、準備のためステージを整えますので、15分程の休憩とさせていただきます。併せて、これ以降閉会まで会場内のドアを開け、換気をさせていただきます。何卒ご理解の程、よろしくお願ひいたします。

⑤ 質疑応答

司会

お待たせいたしました。ここからは、名古屋城天守閣木造復元事業につきまして、皆様からのご質問をいただきたいと思ひます。時間は、15時15分頃までとさせていただきます。質疑応答につきまして、録画し、動画を後日ウェブサイトにて公開します。ご質問される方で、動画の公開を希望されない方は、会の終了後に、係の者にお知らせください。なお、名古屋城調査研究センター所長による講演についての質問は、この場ではご遠慮いただきますようよろしくお願ひいたします。天守閣木造復元事業についてのご質問に限らせていただきます。何卒ご容赦ください。

最初に会場の皆様からのご質問にお答えする職員等を紹介いたします。

名古屋市長河村たかしでございます。

名古屋市観光文化交流局局長の折戸でございます。

名古屋城総合事務所所長の上田でございます。

主幹の荒川でございます。

主幹の荒井でございます。

主幹の梅田でございます。

調査研究センター副所長の村木でございます。

主幹の柴田でございます。

株式会社竹中工務店でございます。

それでは、只今よりご質問を伺ひます。ご発言につきましては、できるだけ多くの方からいただきたいと考えておりますので、お1人様3分以内で簡潔にご発言いただきますようご協力をお願ひいたします。なお、2分30秒になりましたら、私からお知らせしますので、残りの30秒にて、お考えをまとめていただきたいと思ひます。また、多くの方からのご質問を受け付けたいと考えておりますので、ご発言をされていない方を優先させていただきます。初めてご発言される方から、手を挙げていただきたいと存じます。

手を挙げていただきますと、係の者がマイクをお持ちします。ご発言は、マイクを通してお願いいたします。

それでは、どなたかご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。一番早かったですね。こちらをお願いします。

市民 A

春日井市から来ました（個人名）と申します。初めて参加させていただきました。お城が私、好きで日本城郭検定の準1級を取得しております。ただ、名古屋城についてはあまり詳しくないので質問させていただきたいんですけども。屋根瓦についてちょっと確認したいんですけども、今現在緑色をしているんですけども、昭和の再建をされた時には赤褐色の色だったと思うんですけども、それが年々年数が経過して緑色になったとされてますが、当初、最初に慶長期に造られた時は土瓦で、宝暦年間の時に、大修理の時に銅瓦に変わったという事で、宝暦年間の時の天守で復元されるという事でよろしいのでしょうか。今現在、本丸御殿は瓦葺になる前の柿葺きで復元されて寛永年間の時の姿で復元されてると思うんですけども、宝暦年間の時の天守の姿でという事でよろしいのでしょうか。またその際は、黒くチャン塗するのかわらないのかとか、どの様な色の瓦で復元されるのか教えていただきたいと。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい、お答えさせていただきます。まず今回復元する天守でございますけども、天守の姿としてはですね、宝暦の大改修をした後の姿になります。といいますのも、今の天守台の石垣がですね、宝暦の改修の時に地下1階の明り取り窓が2か所増やされたりですとかしております、その姿が今に残っておりますので、下の天守台が宝暦で改修された姿になっておりますので上に復元するものも併せて宝暦後の、宝暦の修理後の姿になってまいります。で、先程屋根の色という事で仰られたんですけども、まず宝暦の改修がされた時にですね、二重から四重のところが土瓦から銅瓦に変えられたと。で、変えられてるんですけども、その時に黒チャンと言われる保護剤といいますか黒い塗り物ですね色が塗られてまして、二重から四重の屋根が土瓦から銅瓦に変えられたんですけど、黒い姿であったろうというふうに記録が残っております。一番上の五重の屋根については、おそらく当時もう緑青をふいていた姿のままであったろうというふうに想定されます。で、今回復元するにあたってはその姿をまずは復元してくんですけども、緑青をふくにはこれ自然のエイジングといいますか時間がかかりますので、それは自然に任せる形にしたいというふうに今のところ考えています。これもまた今のところは我々の考えなんですけども、有識者の先生方にどういった姿が相応しいのかと、我々の考えは考えとして1度お諮りをした上で最終的にはどうしていくかを決めていく事になろうかと思っております。で、あと本丸の中で、本丸御殿が寛永期で天守が宝暦の後の姿という事で、若干時代の差が出てしまうという事もあるんですけど、本丸の江戸期に戻すといった時に、それぞれの姿の最も価値の高い姿を復元していきたいと思っておりますので、若干その時代の違いというのが出てしまうんですけども、そこはですね、きちんとわかるように表示をするだとかですとかご説明をするという形で復元をしていく風に考えております。

黒チャンはですね、色々な成分とかがはっきりとわかっていないところもあるので、それも有識者の先生方にちょっとお諮りをしながら考えていきたいと思っております。

司会

よろしかったでしょうか。次の方をお願いします。丁度この列の後ろの方の方、お願いします。

市民B

名古屋市在住の（個人名）といいます。よろしくお願いいたします。3点ばかり、河村市長もお見えになりますのでお話をお聞きしたいと思えます。まず1点、天守閣、非常に復元という形で、私は個人的には賛成しています。その中で、江戸城が天守台があります。その中で、何故か東京都民が江戸城の天守閣を復元と。まあそれについては建ってないものを復元という形で、私はちょっとどうなのかなという部分で。この部分については、河村市長に頑張っていたきたい。天守閣のバリアフリーに関してはまだまだご再考をいただきたい部分もありますけれども、お願いしたいと思えます。

あともう1点、私名古屋城の年間パスも持っておるんですけども、いつも表、本丸の表二之門を通る時にですね、非常に残念に思うのが、非常にもう古くなってガードがきついという形と、あそこ枳形になっておると思えます。で、あの辺りの表一之門ですか、と、東南隅櫓から西南隅櫓にかけての、多聞櫓ですね。あそこができれば非常に西之丸から入ってくる時に、顔として、ああ名古屋城ってすごいなという風に思えますので、その辺は名古屋市さんの方が、今後どのように天守閣が終わった後にですね、考えておられるか。天守閣がまだまだ文化庁が納得いってないという事であれば、そちらを先に進めるとかっていう部分もありなのかなと個人的には思えます。

あと竹中さんも今日お見えになっていますので、これはお答えいただける範囲で結構です。だいたい長引いておりますので、名古屋市さんと竹中さんのご契約ですね。竹中さんの方、是非進めていただきたいと思えますけれども、遅延損害金とかそんな様なものは発生しておるのかとかですね、今後ともパートナーとしてやっていただけるか、ですね。ちょっとその辺も合わせてお聞きしたいなと思まして、質問とさせていただきます。

司会

はい、ありがとうございます。まずね、江戸城の復元も言っている中で、うちの名古屋城はね、是非やって欲しいというエールの話から始まりまして、天守閣以外の部分の櫓の整備、それから今の契約の話という、その3点くらいだったかと思えますが、お答えいただけますでしょうか。

河村名古屋市長

はいじゃ始めは僕にという事でございましたので、江戸城は江戸城で頑張ってもらってですね、これまあ、あんまりよその事を文句言っとったってしょうがにゃあですけど、なんべんもいますけど、名古屋は誰が聞いたって、名古屋のシンボルゆうのは名古屋城にしてくと。誰に聞いても。シンボルたるやっぱりものを。せつかく凶面残してくれて、こんな事できるの名古屋城

だけです。写真もあるという事になります。まず何をおいても、やっぱりそりゃあ本物、あと1000年、1000年は大事にせなかんという風にしますと、まあ、皆さんも丁度この世代ですから、じいちゃんばあちゃんがええもん残してくれたなあいう事になりますよ。2、300年、まあ某文化庁のえらいさんが言ってましたけど、ここ50年100年でもう1回国宝にできんかと言っとんですけど、その方は200年から300年きちっと本物を造って残しといてくれりゃ、もう1回国宝になるんじゃないかという風に言ってました。この辺です。

それからなんだ櫓か。櫓のところさみしいもんだではよ造らないかん。じゃあ後ろに変われという事。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい、表一之門からですね、表二之門から表一之門、あと櫓の方のご質問をいただきました。で、今日お配りした資料のですね、5ページを見ていただきますと、本物の将来構想図という事が掲げてあるかと思えます。で、ここにですね、将来こういった本丸にしていきたいという絵を掲げさせておまして、そこにありますように、表一之門にしましてもですね、順を追って、段階的に復元を進めていきたいと。で、特に本丸の表二之門の前が、本来であれば本丸大手馬出もございましたので、こういったところもですね、併せて復元をしてみたいという風に考えております。ただ今は、天守の方に全力を掲げさせていただいております。

荒井名古屋城総合事務所主幹

すみません、あの竹中工務店と名古屋市との契約の関係という事でご質問をいただきまして、平成29年5月にですね、名古屋市、竹中工務店さんと名古屋市とでこの事業を進めていく、協力していく事で基本協定というのを結んだんですね。この基本協定を結んだというのは何かといいますと、この事業を実現するためにやはり我々だけのノウハウでは当然できないという事もありまして、当然民間の事業者の技術を最大限に活用しながら、という事で、技術提案・交渉方式というのを採用しているんですね。そのやり方の中で、平成29年5月に基本協定を結んで、その中にはですね、設計だとか、石垣だとかを含めた調査だとか、あるいは工事、そういったものを含んでこの事業を実現させていきますという様な事で基本協定を結んでおまして、それ以降、基本設計だとか実施設計、今回は基本協定を結んでから約5年、6年近く経っておりますが、石垣、あるいは遺構、そういったものをですね、十分調査をして影響が無いようにという事で、調査をしっかりとやって、丁寧にも丁寧という事で、進めてきてるところがありまして、元々予定してたスケジュールでは、なかなか進められなかった事があります。そういったところの中で、竹中工務店さんと名古屋市とが事業が遅れていく中でどうしていくのかという事なんですけど、竹中工務店さんですね、この事業を是非実現させたいという様な事を言っていただいております。そういった協力の中でこの事業を進めていくという事で、今現在実施設計だとか木材の製材、あるいは石垣の調査だとかそういったものを1つ1つをこなしてきております。なので、そういった竹中工務店さんのご協力のもとに、この事業を進めていくという事で、今のところはそういった損害金という事は無いという事で進めておりますので。ただ、だからといって、できるだけ早くこの事業を実現させたいというのは、当然我々もそうですし、竹中さんも思っ

いただいておりますので、今後ともですね、協力しながら進めていきたいというふうに思っております。

司会

よろしかったでしょうか。じゃあ手が挙がった方、そちらの眼鏡の方、お願いします。

市民 C（用意された原稿を市スタッフが代読）

私が代読をさせていただいてもよろしいですか。それでは代読をさせていただきます。木造復元が進んでいるのは、喜ばしいですが、バリアフリーについて僕なりのアイデアを2つ考えてみたので述べてみます。1つ目です。今の名古屋城の天守閣のエレベーターがあるところに、油圧式ジャッキを設けて、その上に個室を造って、車椅子が個室に入ったら、油圧式ジャッキに乗っている個室が上に上がって、1階から5階まで上がる事ができる。天守閣側にはセンサーと木製の漆喰で白く塗られた外壁の自動ドアが付いていて、例えば5階まで個室が上がったら、個室からスロープが伸びてきて、この木造天守側の自動ドアまでつながって、車椅子や高齢者はスロープを使って渡れる。自動ドアは木造天守と同じ材質で白く漆喰で塗られていて、ドアの隙間が目立たない構造。センサーも目立たないように、取り付ける。個室のついた油圧式ジャッキは、普段は地面の上まで下降していて、今の天守閣のコンクリートエレベーターみたいにみっともない感じはなく、木造天守の外観に影響は与えない。

2つ目です。ニューヨークマンハッタンにも木造タワーの計画があるようですが、それを応用して、燃えた国宝名古屋城、木造天守の基礎がおいてある場所の礎石を別の場所に移動させて、スペースを確保するか、あるいはそこの通路に外観は櫓の形をしたらせん状のスロープタワーを造って復元した木造天守の4階5階のみに木造の瓦屋根を付けた通路を繋げる。木造天守の3から5階は間取りが広いので、外から通路は繋げない。3から5階は名古屋城本丸御殿についているスロープのように、木製で造ったスロープを木造天守内に取り付ける。これは火災の避難対策にもなるし、木製のスロープだから、新しいバリアフリー技術ができればスロープを取り壊せる。木造天守とつなげた櫓の形をしたらせん状スロープタワーも、通路を含めて木造だから、バリアフリーの新技术ができれば取り壊す事もできる。車椅子や高齢者は、まずらせん状のスロープタワーで木造天守5階に渡って、スロープタワーで降りて、木造天守4階へ行く。4階からは木造天守内にある木製スロープで直接3階に降りて、また2階へ木製スロープで降りる。今の天守閣と違い、裏側に外観の櫓の形をした木製スロープタワーを、木造天守の4階と5階につなげるので、本丸御殿から見た正面の名古屋城は、燃えた国宝天守と同じ形のまま。それから、1つ目と2つ目の案も、木造天守と小天守の間の通路には透明なガラスの屋根を設けて、誰でも傘を差さなくても通れるようにして、階段については、階段に取り付けられるスロープをつける。段差も段差解消パネルを取り付ける。小天守の2階は、石垣部会の千田先生も提唱した、本丸御殿と小天守をつなぐ引橋。人が渡る時だけ引橋を出して、渡ったら上に引き上げてしまえる構造。これを付ける。私のこの2つのバリアフリー提案をどう思いますか。忠実な復元と、バリアフリーの両立のためにも公募で採用された新技术のみにこだわらず、名古屋市民の柔軟なアイデアもどんどん取り入れて欲しいです。以上です。

司会

はい、今バリアフリーに対する今の木造の天守閣の復元事業を踏まえた上での2つの提案という事で、ある意味仮設的な事も含めたご提案、まず油圧ジャッキの話とそれから木製の同じ様な高さの木造櫓のスロープといった様な話だったかと思いますが、それにつきましてご回答いただけますでしょうか。

梅田名古屋城総合事務所主幹

ご意見非常にありがとうございます。仰られましたようにですね、やはり歴史的建造物とですね、バリアフリーの両立というところが非常に難しい課題であるという事は、以前から言われておりますけれども、我々も非常に痛感しているところでございまして、今現在、公募は先月、公募を選定したという状況ではございますけれども、やはり色々なご意見の方を賜っているところでございますので、今後もですね、広くご意見をいただきながらですね、この木造天守、歴史的建造物とバリアフリーの両立という事につきましては、あり方についてですね、色々十分に検討していくというところは、これからも継続してやっていく必要があるというふうに非常に考えておりますので。いただいたご意見につきましても、またですね、仰られましたように、バリアフリーとして本当により良いものという事は非常に大事になってくると思いますので、また色々なご意見を伺いながら色々検討していきたいという風に考えてございます。

司会

よろしかったでしょうか。はい、では次の方、えっとちょっとすみません先にちょっと上がってたので、ちょっとこの一番前の方からちょっとお願いできますか。次、後ろの方の方当てますので、ちょっとお待ちください。

市民D

天白区から来ました（個人名）と申します。1点だけなんですけれども、私事で恐縮ですけれども、40年ぐらい前、映画監督の黒澤明さんが「乱」という作品を作りまして、その時のスタッフの1人として参加した者なんですけれども、当時たいがいロケーションで、姫路城の中を撮影しました。その時に僕らは技術スタッフでしたので、1週間ぐらい前に到着しまして、城の中を見て全部掃除したんですけれども、その時に感じたのは、木造ですから、もちろん柱、梁と全部木造なんですけれども、よく見るとですね、昔の鉾（ちょうな）がけですね、大工さんがよくやっている、鉾がけでずーっと凸凹の廊下が続いているんですよ、それを見て、ああすごいなと思ったんですよ。僕はまあずっと映画の世界でやったんですけれども、名古屋に帰ってきた時には河村市長が木造復元の事を話されていたのを新聞で読みまして、テレビで見ましたけれども、非常に興味を持って、今までずっといたんです。今日はこういう事もあって、私事で失礼であったんですけれども、その当時姫路の中でみた実際の材料ですね、と、造り方の中に鉾がけがあったという事で、それは当時の名古屋城はどういう造りこみになっていたかという点を聞きたいな、と思って質問しました。よろしくお願ひします。

司会

ありがとうございます。

荒井名古屋城総合事務所主幹

ご質問ありがとうございます。当時、天守が建てられた時、名古屋城の天守が建てられた時とほぼ同時期にですね、今現存しております、西南隅櫓あるいは東南隅櫓そういったものがありまして、そういったところの今現存している建物を調べますと、いわゆるその、鉾を使ってる板材だとか、柱の部分については、小さな台鉦を使ってるだとか、そういった事が徐々にわかってきているというところがあるんです。で、実際天守どうするかといった時には、やはり実物が残っているわけじゃありませんので、姫路城みたいに実物が残っているわけじゃありませんので、本当はどうだったかということをしてできるだけ調べて、それに合う様な形のをまず、元々事実がどうだったかという事をしっかり探求すると、その上で今回復元する、復元すると言っても今の時代で復元しますので、道具だとかあるいは職人さんだとか、そういった技術を持っているかどうかということも含めまして、やれるやれないという事も現実的に、そこも考えなきゃいけないという事ですね。ただ我々としては、そういった事実がわかった以上は、できるだけそういう方向でやっていきたいという気持ちはあるんです。その辺りはですね、しっかり、本当に有識者会議の資料を作って、そういったところでしっかり調べて、今お諮りをしているんですよ。その部分については、本当に竹中工務店さんには、今すごい会社を挙げて、やっていただいておりますので、我々としてもですね、できるだけ、その当時どうだったかという事をしっかり調べた上で、可能であれば今もやっていきたい。それがゆくゆく、平成30年に完成しました本丸御殿もそうですけど、名古屋城の天守を建てるという事ですね、その職人さんの技術を伝承する継承するという事にもなりますし、当然名古屋城のそういった建物を維持していくという上で、そういった方々も残していきたいという気持ちはありますので、できるだけやれる範囲の事を追及していきたいという風に思っておりますので、できるだけ事業を早く実現したいなというふうに思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

司会

よろしかったでしょうか。はい、じゃあ、次の方。そちらの赤い服を着た方、はい、お願いします。

市民E

緑区から来ました（個人名）ですが。ちょっとお聞きしたい事があるんですけど、バリアフリーに関してなんですけど、私ほんと全ての日本のお城を知っているわけではないんですけど、お城でエレベーターの様な昇降機の様なものがあるというところがあるんですかね。まずそれが第一。それから今現在、本丸御殿が観る事ができるんですけど、その時に、いわゆるそういう必要な方が月に何名くらい来ておられるのか。またそして、このもしお城を新しく造る城にですね、昇降機の様な、これMHIの会社が作るというふうには書いてあるんですけど、おそらくそのプロジェクターの反対側を考えている、プロジェクターの絵の反対側の様なものを作るんじゃないかなと考えておるんですけど、それが毎月メンテナンスが必要だと思うんですね。どれくらい税金がまたいる

のか。毎月毎月、また何年、それが持つものなのか。その辺りをお聞きしたいと思います。お願いします。以上。

司会

はい、3点くらいだったかと思います。バリアフリーに関してですけど、実際にそういうお城でバリアフリーという昇降機という事例があるのかという話とか、実際に必要な方がですね、そういうバリアフリーが、どのくらい来てるんだという話ですとか。それからじゃあ実際に今日説明があった技術をもし導入した場合に、メンテナンスが必要だろう、どれくらいかかるのかと、大体そういった3点くらいだったかと思いますが、いかがでしょうか。

梅田名古屋城総合事務所主幹

はい、ご質問ありがとうございます。まず、今天守の方にですねエレベーターがついているところがあるかというところですが、現存している木造で残されているものにつきましては、元々昔からついておりませんので、それは設置はされてはおりません。鉄骨鉄筋コンクリートとかで復元された再現されたお城には、外部エレベーターとかついているお城、大阪城とかもそうですが、ございますけども、という様な状況でございます。あとすみません、メンテナンスの件につきましては、ちょっとまだ先月提案をいただいたばかりですので、今までの事例からですね、おそらくあの色々と今後の毎月どれぐらいのメンテナンスがかかるかとかですね、どういう形になるかという事は、これから色々と検討を進めていくところでございますので、ちょっと現段階ではお答えできないというところでご理解をいただきたいと思います。

現在、今どれくらいお越しになられているかというところですが、平成30年度の調査で、非常に申し訳ないんですけども、現天守閣の方は閉館しておりますので、閉館する前の状態ですと、統計をとった全ての実績でございますが、約1パーセント程度（正しくは、約0.1パーセント程度）というところが、実績としてあるというところでございます。

市民E（マイクなし）

1パーセント。

梅田名古屋城総合事務所主幹

はい、1パーセントぐらいの調査結果という事でございます。

司会

はい、よろしかったでしょうか。はいじゃあ次の方、時間もちょっと来てますので、あと2人くらいに何とかしたいと思ってます。すみません、時間の関係で申し訳ないです。じゃあこちらの後ろの方、お願いいたします。

市民F

南区の（個人名）です。今は何かエレベーターがどうのこうというお話が出ましたけれども、私は河村市長の考えに近い考えを持ってる。これは木造で造る上に、この金属的なエレベーター

を作るというのは、そぐわないというか、技術的に問題点がある様な気がします。そこで、障害がある方、そこに付き添つとる人、または生年月日がわかる証明書の、まあ80歳なり85歳の人、動画を作って、茶菓子を出してもてなすと。何かそういう様なものを作らん事にはおさまらんと私は思います。

と、もう1つ意見は、竹中工務店にお願いしたいんだけど。竹中工務店のメンツにかけて名古屋城を造るんだから、ここで木材があがったでこれは505億円くらいですまん、まあ、700か800とならんようにしていただきたい。これ、ほんと名古屋城を造るという事は竹中工務店の面目にかかる問題ですから、という事です。

司会

はい、ありがとうございます。まずは木造で造る事には賛成なのでそこに対する昇降技術に対する疑問点という事が1つと、それから竹中さんへのエールという事で、よろしかったですでしょうか。じゃあお願いします。

梅田名古屋城総合事務所主幹

ご意見ありがとうございます。やはりですね、昔のものといえますか、木造で復元をしたところに現代的な技術を入れるというのはやはり非常に難しいところがございます、それも含めて今回開発という事も含めまして公募をしたわけがございますけども、先程の繰り返しになってしまつて恐縮でございますけども、やはりちょっと色々なご意見をやはりいただいておりますので、これからも十分に検討していくという事でご理解を賜りたいと思っております。またですね、今回も公募で決めたものだけが全てではございませんので、色々なもの、VRの技術もだいぶ発達して発展してきておりますので、そういう事も含めまして、導入の方は竣工までには色々検討していくという事でございますので、よろしくお願いたします。

竹中工務店

はい、ありがとうございます。先程も名古屋市さんの方から竹中と名古屋市さんの方で基本協定書を結んで、協力して事業を進めていくという事のご説明がありましたけれども、まさに我々今も、状況は色々と変わったりする事もありますけれども、名古屋市さんと十分話し合つて協力して、この木造復元をしっかりと完成させると、そして市民の皆様方にも喜んでいただける様な木造復元を完成させるというところに全力を挙げているところでございます。

司会

よろしかったですでしょうか。はい、では次の方。こちらの方で、順番にお1人ずつご発言いただくという事で、ある程度最後という形でさせていただければ良いかと思っておりますので、帽子をかぶっている方とそれからその前の方のマスクの方と2人で、お願いします。

市民G

3点程ご質問させてください。1点目、先程のバリアフリーにも関わるところですが、技術の発展というのはかなり、日々進歩してると思います。最優秀案についても、柱を削るという事に

はならないにしても構造への影響は大きくあると思います。今後、取り外したりだとか、より良い案が出てきた場合に、リカバリーする様な工法は考えられているのかどうかというのが1点目。2点目ですが、木材についてです。今、ある程度集約ができていているという事ですけども、全体の何パーセントくらい確保されているのか、あるいは寸法の大きい材というのはかなり調達が難しいというふうに思っておりますので、こちらについての調達状況がどうなっているのかというのが2点目です。最後に3点目ですが、大天守については議論によくなると思うんですが、小天守についての再建の検討状況、というのか現状どうなっているのかという事についてご紹介賜ればと思います。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。ではその1つ前の、はいそうです、はい、お願いします。

市民H

どうもありがとうございます。西区から、名古屋市の西区から来ました。ざっくばらんな質問なんですけど、この事業には、きっとスケジュールがあると思うんですけど、色々新聞見たりしてもスケジュールが全然見えないんですね。今もこう聞いてて、色々問題点はあると思うんですけど、1つあの、市長さんの在任中には面倒つけてもらいたいと思ってます。私も80近いもんですから、是非死ぬ前に、この木造復元を建つものを見たいわけなんです。是非、あのスピードアップでこれを続けていっていただきたいと思います。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。1人目の方から、バリアフリーの事で、3点程いただきました。今後技術が発展していくという事もあり得るので、どうやってリカバリーしていくかという話。それから2つ目に木材の集約、調達状況のお話。そして3つ目に小天守についても再建の方をちょっと聞きたいという事、この3点だったかと思います。そしてスケジュール早めてという4点ですね。お2人で4点だったかと思います。じゃあ順番にお願いします。

荒井名古屋城総合事務所主幹

はい、ご質問ありがとうございます。まずはバリアフリーをやるために、現代の技術を入れるといったところにおきまして、歴史的建造物に対する影響だとか、今仰った様な柱を削ったりすると元に戻らないとかいう様な事があると思います。我々は今回木造で復元をするといった時に何を考えるかといった時に、そういったところが一番大事だと思うんです。で、おそらく我々が、バリアフリーだけじゃなくて例えば耐震補強だとか、あるいは防災設備、そういったものを、現代のこの時代にですね、造る上では、どうしても必要となる様な設備があるんです。そういったものも含めまして、どういった取り付け方があるのかといったところに、基本になるのが何かといいますと、今例えば姫路城も含めて、国宝だとか重要文化財、そういったものの建物を耐震補強をする時にどういう取り付け方をするのかという時に、ちょっと専門的ないい方をしますと、可逆性といういい方をするんですね。要は取り付けるんだけど、外した時に元に戻る様な。そういった要は元々の姿に影響が無いように、元々の木材には影響が無いように、できるだ

け影響が無い様なやり方をしなきゃいけないんですよ。今回、木造復元をする上でも、やはりその部分をやっぱり我々は守らなきゃいけないと。何でも良いですよという訳じゃなくて、やっぱりそういったところを、いわゆる可逆性というもの。取り付けはするんだけど、外せば元に戻るとい、そういったところをできるだけ追及しながらやっていきたいというふうに思っておりますので、申し訳ありませんけど、今後その部分も含めまして、実際に工事をやる時には、一番重要視していきたいというふうに思います。

続きまして木材についてですね、今の竹中工務店さんと名古屋市とで契約している木材の契約というものは、仰った様な柱や梁、要は径が大きくて長い様なもの、なかなか簡単に本当に手に入らないですよ。そういったものを、平成30年7月に契約をしております、その柱や梁を先に契約をしております。で、それ以外の板材、あるいは床板や天井板、あるいは敷居、鴨居、長押だとか色々あると思うんですけど、そういったものはまだ契約をしておらず、ようは調達にすごい難しい、簡単に手に入らない様なものは先行して契約をしております、竹中さんがすごい努力をさせていただいております、全国の材木、取扱っておられる業者さんもすごい協力させていただいております、柱や梁の内、大体全体が2000ちょっと立米ありまして、その内の2000立米くらいはもうほぼ集まっております。しかもそれは国産材で集まっております。木材全体としましては、細かいところまでは把握はちょっとできていないところはありますけれど、4500立米くらいある、4800立米くらい、4500から4800立米くらいあるかと思っています。その内の約2000立米くらいが今既に調達ができております、乾燥を進めているという様な状況でございます。

荒川名古屋城総合事務所主幹

あと小天守の方の復元について、どんな考えかというお尋ねだったかと思うんですけども、えーとですね、お配りしております資料の16ページをご覧くださいませ。今後の流れというのがですね書いてございまして、ここに赤枠で囲った令和4年度というところに解体と復元を一体とした木造天守整備基本計画というのがございます。で、これを今年度中にまとめようと今必死に頑張っておるところなんですけれども、先日我々有識者会議とっております天守閣部会というところで、そういった史跡の整備ですとか歴史的な建築物に詳しい先生方を集めた有識者会議があるんですけれども、そこにですね当時、これから復元をしようとしている天守、小天守も含めてですね、どんな姿であったのかというのを、先程当初の市長のご挨拶の中でもありましたけど、昭和実測図ですとか、これも大天守だけじゃなくてですね、小天守についても詳細な昭和実測図というのが残されております。でまた古写真ですとか、あとは先程いつの時代に復元をするかといったお話が出てた時に、宝暦の大修理後の姿にしますよというお話をしたんですけども、その時の修理の記録というのも残っております。そういったものをもとにして、これから復元する大天守小天守というのが、当時どういった姿をしてたのかというのを学術的にですね、分析した結果を先生方に見させていただいております、その部分までは今終わってきております。ですので、小天守につきましても大天守と同様に過去のそういった文献資料をもとにして、きちんとした復元をしてまいりたいと思っております。

で、続いてスケジュールが見えないというお話をいただきまして、これも16ページを見ていただきますと、今年度中に何とか整備基本計画というものをまとめてまいりたいと思っております。

ですけれども、その後令和5年度以降のところ、整備基本計画を文化庁へ持ち込んで、その後復元検討委員会というのが黄色で塗ってあるかと思えます。これが何かと申しますと、国は国の方で特別史跡の中で復元するにあたって、今の我々が考えている大天守小天守というのが、復元というのがきちんと文化財保護という視点から見ても大丈夫なのかといったところをですね、有識者の先生方にお話をされる。色々ご意見を聞くという場が復元検討委員会というものがあるんですけれども、何とか来年度、そういったところに諮っていただけないかなという事で今進めておりまして、これが終わってきますとようやく許可という手続きになってきますので、それが終わりますといよいよ現天守閣の解体を始めにして、工事の着工という事、流れになって参ります。なかなかこの復元検討委員会というのがですね、我々が直接出向いて話をできるというところでもないものですから、どのくらい時間がかかるかというのが我々では読めないところがございまして、竣工期限がいつできますよというところがお伝えできないなど。大変心苦しいんですけれども、できる限り早くなるようにですね、努力してまいりますので、今しばらくよろしくお願ひしたいというふうに思います。

司会

よろしかったでしょうか。はい、多くの方にご質問いただきまして、誠にありがとうございます。閉会の時間がまいりましたので、河村市長より、一言、閉会のご挨拶を申し上げます。

河村名古屋市長

はい、それではありがとうございます。本当にこんなぎょうさん集まっていたのは初めてですね。まあ、また意見も非常に、冷静いうとおかしいですけど、まあ励ましていただける様な意見も圧倒的だったと思えますので、皆さんがやっぱり名古屋への郷土愛というのを深く感じた。問題は、今度この図面があって木で造るゆうのは、復元というんですわ。改築とかそういうやつじゃなくて。そりゃあこんなのは世界で初めてですよこれ、木造で。図面があって、先程ありましたように、全部国産材でやると。一番太い木なんてものすごいですよ、これ。松の木で樹齢、竹中さんいってたけど330本あったっていってますけど、東北の月山松という、今の野球の大谷君の、大谷さんの出身地のとこの松ですね、2本残ってる内1本を今度使うと、名古屋城の一番ええところに、梁ですよ。もう1本の木がこないだ台風で倒れたとか言っとったなこれ。もう1本あったのが。だから日本で、僕が聞いた話ですよ、僕が聞いた話では、日本に残ってる最大の松の木です。まっすぐの松って、そう無いですよ、330年も経ったやつ。地元の方がこりゃ大変なんだよ言っていましたわ。松くい虫もあるし、雷もあるし。そこでできた松の木をこのまま使うと。いっぺん、これも竹中さんも、ちょっと日本では無理だといっぺん言ってみえたんですよね。米ヒバというものを使わないかんのじゃないかと言っていましたけども。岩手県奥州市の方から連絡があって、是非使ってちょうという事ですね。わし、まあこれ行きます、ハグして、アイムソーリーアイラブユーと言ってですね。ごめんねって、300年生きてきた材木をと言ったんだけど、奥州市の皆さんが集まってくれたんです、町長も。大体300年くらいしかふつうもたんのだと。だで丁度ここですね、名古屋で第2の松の人生を歩ませていただけるという事は、どれだけありがたい事だと言っとられましたけどね。そういう材木を使って造るというのは、これは復元ですから。一旦、焼けたんだけど、しかし本物がそこにあるというふうに、そ

ういうふうを考える事なんですよ、復元というのは。これ ICOMOS の、ICOMOS というのは世界の建築物の、リーダーが僕に言ってました。それは想像力、本物なんですと、空襲で焼けなかったというふうにみなす、という事で想像力が重要なんで。今やろうとしとる事は世界で初めてだって。まあわしもね、今お話あったけど、まあ 74 だで、まあすぐあの世いかなかんがねこれ。ほんだでまあ頼むではよやとくれというふうにね、わしの近所のじいさんばあさん、みんなそう言ってますわ同級生。という事でございますけど、なに分本当にそんなに値打ちがある世界で初めての、焼けなかったかのようにそこに蘇るんですよ。本当に。そういう事でございますので、是非 1 つお力をいただいて、今度市民の力で盛り上げなかんですよ。バリアフリーの話もありましたけど、もう 1 つの価値観で、本物をやっぱりずっと引き継いでくと、1000 年もね、法隆寺 1300 年ですけど。そういう価値観も非常に強くてですね。そういうふうに言われとる事が非常に多いです。本物残そみやあいつて、という方も大変多い、という事でございますので、しっかりなんとか生きとる内に、早いとこ皆さんで味わっていただけるかと思って。1000 年後の孫が喜ぶますから、必ず。ええもん残してくれたとこれ。すげーなこれほど。世界で初めてらしいぞこれ言って。そういう事になりますので。是非皆さんであと 200 年後くらいには、国宝にもういっぺんなる可能性もあるで自信持ってやってくださいと、文化庁の偉い人が行ってましたんで、よろしく、応援してちょうだいという事でございます。今日は本当に長い時間ありがとうございました。サンキューベリーマッチ。ありがとね。

司会

ありがとうございました。それでは、登壇者の皆様、いったんご退出ください。ご来場の皆様は、少しだけしばらくお待ちください。実はこれから、名古屋おもてなし武将隊が今日来ていて、武将隊の方から名古屋城のイベントに関する告知がございますので、もうしばらくお待ちください。ではご登場ください、お願いします。

名古屋おもてなし武将隊 徳川家康公

天下泰平を築きし、初代徳川将軍、皆の者、此度はよう集った。わしが名古屋城築城者、徳川次郎三郎家康である。はあっ。もっと大きな拍手じゃあ。ははは。ありがとさんじゃわのう。まずもってわしはぬしたちに伝えたい。ありがとさんじゃわのう。我築きし、この尾張国名古屋城はなあ、400 年前もこの話であるが、今もなおこのように多くの者達が集い、議論を交わし、そして大切に育んでいこうという様な姿勢が、わしは嬉しい。誠にありがとさんじゃあ。さて、我がぬし達への御礼もそうなのじゃが、ここで去っても芸が無いがゆえになあ。ちいとばか、このまちの、名古屋城の魅力の 1 つも話してまいろうではないか。ぬし達も、えらいしたためてくれて、大発信してくれとるわな。ありがとさんじゃわのう。さて、丁度 1 週間後じゃな。きたる正月 28 日土曜日には、名古屋城シンポジウムなるものがござる。これ知っておるよっちゅうもんは手を挙げてみってくれるかのお。おお、ほうかほうか。まいる、そういった予定であるというもん手を挙げてみってくれるか。ありがとさんじゃわのう。丁度、今日話した様な、名古屋城のな、今後どのように活かしていくという進捗も実は時間として行われるのじゃが、主にはこの名古屋城の魅力を皆々に知ってもらいたいという事で、城名人達に集まってもらおう。まずは、小和田殿じゃわなあ、丁度わし徳川家康はのお、「小和田さんぼ」なる、どうじゃろうか、このからくり

の中にある YouTube、これにてのお、わし徳川家康やそれから小和田殿が、尾張国名古屋の大高の地、丁度「どうする家康」でも第1話にでてきたわなあ。我が大高の兵糧入れで、こういった場所や何かをのお。わし徳川家康がどの様な思いで、兵糧を入れ、そしてその後このまちを育んでいったかという様な事を話しておるのじゃが。まさに、これまでの名古屋城、そしてこれからの名古屋城を語る、そういったものになっておるわのお。他にも、異国からまいりし、名古屋城にまいったのは、もう 800 回以上じゃな。クリスグレンなる者がおる。いつもわしがなあ、現れるたびに、かしづいて、どうもどうもどうもクリスグレンです、殿。いう様な話し方をする様な者じゃなあ。あの者は、幼き頃、夢を抱いたそうじゃ。そう祖父、彼者の祖父が日の本の事を語り、そして少年であったクリスグレン殿は、いつか日の本にまいりたい。そして、日の本にまいったのは、最初は北海道だそうじゃ。元々あこがれておった城や何か、北海道にはなかなか無いで驚いてまって。そして、いつか行きたい日本の中でも、愛知県。それはやはり、多くの城があり、そして武士（もののふ）文化の聖地であるからなあ。そういった夢を叶えたクリスグレン殿は、まさに夢の国であるこの尾張国名古屋の名古屋城、おそらく名古屋おもてなし武将隊や名古屋城の案内人達、職員を除いたら世界で1番名古屋城を知っとるで。そういった者達が語る、これからの名古屋城という話、わしも聞いてみたい。先程迷っておったが、我が話を聞いて、やはり行こうと思った、もしくは元々行こうと思っておった者、手を挙げてくれるかの。ほうか、ありがとさん。ずいぶん増えたわなあ。わしなかなかいたしたわのお。さて、この中で、先程ちらとでたが、大河ドラマ「どうする家康」を観ておるよっちゅう者手を挙げてくれるかの。ほうか、ありがとさんじゃ。正直に観ておらぬよっちゅう者手を挙げてくれるかの。それはそれでよき事ぞ。このままだと全員観とる事になるが良いか。まさに、おぬしたちが住んでおるこの名古屋のまちが沢山出てくる。もちろん桶狭間の戦いでは、今のおぬしたちの言葉では、緑区か、あの辺りが沢山出てきたんじゃが、今回の「どうする家康」、題目通り、その判断によっては我が人生が変わっていった。ぬしたちの知るところのように、わし徳川家康の人生そのものが、この日の本に大きな大きな道しるべと、結果的にはなっていたわけなんじゃなあ。ゆえに日の本のなりたちを、おのが自身が住んでおるその土地と、その土地をなぞりながら、話を進めていく体験というのはおそらく、皆々まあわしが見るところここに集まる者達は、まあそれなりに年齢もいっとる者達も多いけども。それだけ、人生、齢を重ねておる達でも、おそらく沢山はなかったであろう。そういった体験が此度できるわけなんじゃなあ。特に、おぬしたちがここにおるという事は、知識もあり、行動力もあり、またまちへの思いやりも強い。今来とる者達は、おそらくわしにとっては特別な者達じゃ。まさに我が家臣達が日の本を一緒に作ってくれたのと同じ様な気持ちであると思う訳じゃ。何故ならばこの名古屋のまちそのものが、我が子同然である。ゆえに此度このように議論の中で、色々な思いが生まれたと思うが、是非とも家に帰ったらなあ、家族や、それから明日以降、もしくは月曜日になるかな、友や何かと話をいたして欲しい。皆々で育んでいくまちであり、皆々で築かれた名古屋城であり、ゆえに今後もそのようになって欲しいと。築城者であり、そして名古屋城の生みの親であるわし徳川家康が思うわけじゃ。わかったものは拍手をいたすのじゃ。ではわしからは以上じゃ。また会おうぞ。さらばじゃ。

司会

ありがとうございました。武将隊の皆様、ありがとうございました。それではですね、以上を

持ちまして、「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を終了いたします。混雑緩和のため、順番にご案内させていただきます。お忘れ物の無いよう、お気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。

3 アンケート結果

(1) アンケート集計

① 回収数

149 件（うちオンライン回答 5 件）

② 居住地

	件数	構成比
名古屋市内	131	87.9%
市外	18	12.1%
合計	149	100.0%

③ 年齢

	件数	構成比
1. 10 歳未満	0	0.0%
2. 10 歳代	0	0.0%
3. 20 歳代	5	3.4%
4. 30 歳代	5	3.4%
5. 40 歳代	8	5.4%
6. 50 歳代	21	14.1%
7. 60 歳代	40	26.8%
8. 70 歳代	52	34.9%
9. 80 歳以上	18	12.1%
合計	149	100.0%

④ 講演による名古屋城に対する理解度

	件数	構成比
理解が深まった	103	71.5%
理解が深まらなかった	9	6.3%
どちらでもない	21	14.6%
無回答	11	7.6%
合計	144	100.0%

⑤ 市の説明の理解度

	件数	構成比
理解できた	101	67.8%
理解できなかった	12	8.1%
どちらでもない	17	11.4%
無回答	19	12.8%
合計	149	100.0%

⑥ 説明会の理解度（年代別）

	理解できた	理解できなかった	どちらでもない	無回答	合計
20歳代	4	0	0	1	5
30歳代	4	0	0	1	5
40歳代	8	0	0	0	8
50歳代	15	0	4	2	21
60歳代	29	3	5	3	40
70歳代	28	7	7	10	52
80歳以上	13	2	1	2	18
合計	101	12	17	19	149

(2) アンケート内容

①説明会アンケート用紙

名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会 アンケート

○ 講演で、名古屋城に対する理解は深まりましたか。

・理解が深まった ・理解が深まらなかった ・どちらでもない

○ 名古屋市からの説明について、理解できましたか。

・理解できた ・理解できなかった ・どちらでもない

○ 本日はご来場ありがとうございました。ご意見・ご感想を、ご自由にお書きください。

【あなた自身についてお答えください】

年 代	1. 10歳未満	2. 10歳代	3. 20歳代	4. 30歳代	5. 40歳代
	6. 50歳代	7. 60歳代	8. 70歳代	9. 80歳以上	
居住地	1. 名古屋市内		2. 市外		

ご協力ありがとうございました。本アンケート用紙は、出口で回収させていただきます。

②アンケート内容

※空欄は無回答

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	早く作ってほしい。
名古屋市内	70歳代	どちらでもない	どちらでもない	
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できた	早く完成させて欲しい。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	どちらでもない	
名古屋市内	60歳代	理解が深まらなかった	理解できなかった	何を説明するための集会か趣旨がよくわからなかったが、質疑の時間になって少しずつわかった 皆様どうぞがんばってください
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	私も高齢の為、天守に登る夢が叶わないかも知れませんが忠実に再建されます様望んでいます。私達昭和の時代に紛失させた旧国宝・名古屋城 もう一度勇姿を見たい エレベーター設置の件で話題となっている様ですね 私は反対です。自分達のことだけ考えるべきではないと思います。私はたとえ天守に登れなくてもいいです。昔のままの姿に戻してあげて後世の人々を見守ってほしいと思います。観光だけじゃない 歴史の「生き証人」として命を吹き込んで欲しい (どうか) 天守に登るだけの再建ではなく忠実な再建望んでおります。乱筆でごめんなさい
名古屋市内	70歳代	理解が深まらなかった		普通に理解されているような内容で、新たな説明の必要な内容ではなかったと思います。只、説明会を開いたという形だけのものでした。
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	・服部所長の説明により、名古屋城天守復元に対する思いを子供時代から抱いていたことがたのもしく、うれしく思いました。

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に木造天守の復元は大賛成です。”国宝”化も復興してほしい。バリアフリー化について、議論が激しくなっていますが、1%の見学者に対する対応に、どれ位の予算の増加があるのかはとても気になります。VR技術に頼る実視体験には意味は現代でこそ大きいので利用してほしい。 ・質問：エレベーター付にすると”国宝”化はなくなるのですか？
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・天守はぜひ元の形で復元していただきたいと思っています。それが出来るのは名古屋城だけだと思います。 ・石垣等の調査の資料をまとめてWebにのせているならWebを知りたいです ・木造復元についての具体的な説明が聞きたかったです。機会があればぜひ ・エレベーターはいらないと思います!!!
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・河村市長がいつも言っているように、膨大な記録が残っていて、有りし日の姿を完全に復元できるのは、名古屋城だけである。昔の姿のままに復元するのが原則であり、その価値がある。そのような背景において、バリアフリー、エレベーターにこだわるのは間違いだと思う。（当然、現在の建築基準法の規定に従う必要はあるし）ある程度の防火設備の追加は必要だと思う（そうしないと、沖縄のしゅり城の二の舞になる） ・名古屋市は、昔の姿のままに復元する意味・価値をもっとPRしていくべきだと思う。（極論を言うと、一部のうるさい、さわいでいる人にひっぱられないように） ・そもそも、木造復元には大賛成である。木造で復元した掛川城や白河小峰城にも言ったが本来の姿である木造は良い物であった。 ・本来一般庶民にとって天守閣はあおぎ見るものであり、中に入るための物ではない。中

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<p>に入って上がることだけに、こだわる人たちはおかしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし、私が入ることができなくても、木造復元する価値はあると思う。 ・ところで、名古屋城の搦手馬出の石垣修復も、やっと予算がつくようだが、早く元の姿に戻してもらいたいと思っています。そしてまた現場説明会をひらいて下さい。
市外	60 歳代	理解が深まった	理解できた	早く木造復元して欲しい
名古屋市内	70 歳代			
名古屋市内	60 歳代	どちらでもない	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・賛否は別にして、名古屋城の状況は理解できた。文化庁からの要望が何か？市の対応について、もう少し詳しく聞きたかった。 ・200 年後 300 年後に国宝になるかもしれませんが、令和に建てた建築物であるので、やはり、だれもが登れるようになるとよい。 ・復元といってもレプリカだから、バリアフリーはあってよいと思う。 ・木造復元を忠実に復元し、バリアフリーを行わずなら天守閣にはだれも入れないようにし、外よりながめるものにする。観光の価値は大幅にへると思うが…。
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	<p>バリアフリーを付けたお城では意味がない。木造復元が目的であり、バリアフリーのお城を作るのが目的でない。別のものになってしまうので、バリアフリーは一切不要である。</p> <p>(私も心不全) 高令になり、登れるかどうか、出来ないなら登るべきでない。山登りと同様で自己責任で下りれないなら登らない。空しゅうで焼かれた国宝であるので、米国にも責任をとってもらい請求書を送ったらよい。</p>
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	完成することを楽しみにしています。

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	木造復元の話聞いて8~9年たちます。様々な問題におりあいをつけて早く取りかかってほしい。
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	戦災で焼け落ちた天守閣の石垣、強度は本当に大丈夫なの？使えるの？ 天守閣だけではなく、本丸全体を元の姿に整備するとは知らなかった。
名古屋市内	40歳代	理解が深まった	理解できた	早く木造の名古屋城天守閣が見たいです。復元が楽しみです。世界に誇れるお城にしてください。
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	名古屋城天守閣木造復元とても楽しみに待っています。すばらしいお城に向けて、関係の皆さまが大変な努力をされていることが、よく分かりました。応援して、待っている方はたくさんおみえです。日本中の皆さま、世界からも。皆さま、がんばってください！！ドラマ「どうする家康」が始まりました。多くの日本中の皆さまが、おみえになることでしょう。天守閣に登上できないことは、今は残念です。復元、待っていますよ。
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	1日も早く天守が出来あがってほしい
名古屋市内	70歳代			名古屋城は他城と違い豊富な資料が残っている。この資料を元に築城当時（又は寛永期）にあった姿を再現してほしい。 観光施設ではなく文化施設としての再建を臨む 身障者に対しての配慮は当然ではあるものの、それにより文化価値を落しめてはいけない。そういう人々が安心して本丸天守を楽しめるようにIT技術を使い、安全な状況でVRを使い楽しんでいただく方が良く思う。最近身障である事で余りに横暴な振舞いをする人も目立つ。多門櫓の再建も急いでほしい。

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	<p>本事業は、名古屋市のスケールではなく、国家としての事業にふさわしいと思います。寄付の手段が、古くさいように思います。現在のクラウドファンディングを利用し全世界に本事業をPRすれば、かなりの金額の寄付が集まると思います。ネガな意見をいう方はいるかと思いますが、実現に向けてがんばっていただきたいと思います。</p>
名古屋市内	70歳代			<p>燃えにくい鉄筋の名古屋城から、史実に忠実な木造復元の名古屋城の復活、大変期待しています。ただ、現在に則した制約もあり、なかなか100%復元は難しいのが現実では。そもそも入城しづらい城が本来の姿であり、多くの来場者を見込む観光施設を目指すならば、幼児、高齢者、障害者も来場を可能にする大型EVやエスカレータはOKとすべきであろう。要はより100%に近い本物純金の城にするか、各々が妥協し80%ぐらいの城でよしとするのかの決断と妥協では。この際、名古屋市民の投票での決着も含め、早めに結論を出し復元に着手して欲しい。あと、非常時対応で避難階段等の増設もあるのか何かの機会に防災上の安全対策を公開してほしい。</p>
市外	70歳代	理解が深まらなかった	理解できなかった	<p>講演は資料用意して欲しかった。30分というなら清洲櫓だけに集中すべきだったと思うききとりにくく残念だった。結論は？もと資料にあったものに最大限の関心を持って参加したのにすっきりしない。何かに研究成果発表しておられるようだがはっきり示して欲しかった</p> <p>市の説明といっても資料のまま・・・・しかし具体的な内容がなくわからなかった。大変な事業であることはわかるが。</p> <p>熊本城の復元工事どんどん進んでいるのになぜ名古屋城築造にこれだけ時間がかかっている</p>

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
				のか？質疑応答の中で漸く中身が出てきたと思った。但し発表への質問ができなかったのでまぜられてしまった。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解でき た	
名古屋 市内	80 歳以 上	理解が深 まった	理解でき た	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の計画より遅れています。御国と仲良くして出来るだけ早く完成して下さい！ ・現在の天守閣公開されていないのは残念です地震対応ですか？
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解でき た	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーは十分対策を行うこと。その際は、景観に配慮する。 ・スケジュールを決めて、それを守ること。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解でき た	<p>いろいろな意見に対応、整理しながら事実 に忠実な復元作業に取り組んでおられます。 小さな声しか上げられませんが応援してい ます。文化庁の建築許可を得るのがまず大 事業だと思いますがおよその日程・建築日 程はどのくらいでしょうか。広報なごや等 で目安を公表いただけませんか。歩ける うちに登城してみたい 楽しみにしてい ます。司会の声をもっと上げて欲しい。 老人に聞き取りにくい。</p>
名古屋 市内	60 歳代	どちらで もない	理解でき なかった	講演の時間が短かった。もう少し長い時間、内容を期待した。講演というよりも名古屋城の宣伝のような感じ。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解でき た	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し詳細な説明が聞きたかった。 ・バリアフリーに関しては最後は人力でもいいから本物を早く作って欲しい <p>将来への宿題でもいいのではないか。</p>
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解でき た	
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解でき た	<p>「木造復元」の説明が不十分だった（既に説明済みだから省略したのか？）</p> <p>木造の構造・予算・工期などを聞きたかった</p> <p>今回の説明会では質疑応答が最も良かった</p>

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	40歳代	理解が深まった	理解できた	名古屋城が姫路城より先に城郭として国宝に指定された事は知りませんでした。1日でも早く木造復元を実現して欲しいと思います。全国の人たちにも木造復元に興味を持ってもらうイベントを積極的に発信していき、国全体で木造復元実現の機運を高めていって欲しいと思っています。
名古屋市内	60歳代			質問に真面目な質疑が多く、復元の遅れの心配をよそに前に進んでいることを感じました。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	大変楽しみにしています。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できなかった	復元について、何が問題になっているかの具体的な説明がききたかった
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	木造復元プロジェクトは当初の構想より大幅に遅れており、この間に石垣やバリアフリーなど、大きな課題が明らかになってきた。市民の期待も大きい重要プロジェクトなので多数の市民の理解が得られるようにていねいな説明をお願いしたい。 併せて、名古屋城には天守以外にも本丸御殿、二の丸庭園など貴重な財産が多く存在している。それらの活用、整備などもきちんと進めてもらいたい。
名古屋市内	70歳代	どちらでもない	理解できなかった	復元を楽しみに待ちたいと思います。それ迄元気・健康ですごせる事、自分自身へのいましめとして待ってます。
市外	20歳代	理解が深まった	理解できた	現在大学で考古学を学んでおり、卒業論文は城郭について書くつもりです。一部地域における城郭の縄張の変遷（もしくは編年）についてを研究するか、石垣について書くか迷っており、今日の天守台についてのお話が特に勉強に（参考に）なりました。名古屋城を訪ねる度に木造復元の募金を大変少額ではあり

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<p>ますがさせてもらっていて、これがこういうことにつながっているんだと実感ができました。応援しております。また行きます。自分と同年代の人がそう見当たらなかったので、少し心細かったです。時期が時期なので難しいことはあるかもしれませんが、20代とか（大）学生とかがもっと来れる（来やすい？）、もっと広告？おしらせ？が目に入るようにしていただければなあと思います。</p>
名古屋市内	70歳代	理解が深まった		
市外	60歳代	どちらでもない		<p>○講演の声が小さく聴きづらかった。1時間くらいあってもよい。</p> <p>○復元説明では、復元の大まかな手順は分かった。具体的なことは分からなかった。結局は文化庁の許可が出てからじゃないと具体的な復元事業は決まらなないとわかった。東北隅櫓や一之門、多門櫓まで復元されたら嬉しい。まだまだたくさん調査が必要で、大変だ～。</p>
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	なかなか難しい事業ですが、多くの人が納得できるお城を期待します。
市外	50歳代	理解が深まった	理解できた	
市外	40歳代	理解が深まった	理解できた	質問できて、確認できたので助かりました。ありがとうございました。
名古屋市内	40歳代	理解が深まった	理解できた	名古屋城は名古屋のまちが生まれたもととなったものですので、整備・復元に期待したいです。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	手続きが大変なのはよく理解できた。早く完成してほしい。
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	話を聞いて木造天守の復元がとても楽しみになりました。もっと寄附金が集まると良いと思います。やっぱり名古屋と言ったらお城ですから。中身の深い説明が聞けて良かったです。

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・1日も早く天守閣が拝見したい。出来れば行程表を明示して下さい。 ・宝くじが当たったら寄附させていただきます。 ・文化庁の意見も大切ですが、名古屋の現状からは是非一推しの計画を進めて下さい。 ・フリー提案は両立をあり方の検討を充分できる範囲で設計頂き度い、工期は一日も早く。（長押し金具？姫路城も判った判意でしっかり調査の上で、職人の技術でできる様にやって行く）
名古屋市内	70歳代			所長の講演は聞き取れなくよくわからなかった。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	<ol style="list-style-type: none"> 1 大ざっぱに10年位先 or20年先位の感じのスケジュール感が欲しい 2 復元後 城壁の復元にも取組んで欲しい。（金沢城みたいにして欲しい）
名古屋市内	80歳以上	どちらでもない	理解できた	
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	本丸将来構想までの実現を期待しています。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費とスケジュールを明らかにして欲しい。 ・国の審査機関の承認が得られる見通し、あるのか？
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	世界にほこれる木造復元、期待してます。（資料残ってるのはすごいですよね）まわりに城下町（町並？）みたいなのも、あったら楽しいのかなとも思いました
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	50歳代	どちらでもない	どちらでもない	いつ完成するのですか？名城にくる人たちに、いつから天守に入れるの？とよくきかれます。生きているうちにできるのか？と思ってます。木造にする意味が本当にあるの？未来に向かって（古いもの再建でなくても）新しいものをつくってもいいんじゃない？

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	70歳代	どちらでもない	理解できなかった	<p>バリアフリーで、垂直乗降設備等は設置すべきでない</p> <p>毎月のメンテナンスに費用が必要となる。孫の代までその費用がかかり、城は300年以上の間に設備の交換が必要となる。ゼットタイにバリアフリーにする必要はない</p> <p>世界遺産にならない。</p> <p>○わるいがバリアフリーは無し。木造のみの城にして下さい</p>
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できた	<p>木造は、歴史に忠実がなにより。変にEV施設などおかしなもの。年に数度、障害者の集いをもうけて仮設のEVを設致して3~4階くらいまで登れるようにしたらどうですか。その日は一般の人は入場出来ないようにするとか。</p>
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・早く工事に掛って下さい。 ・室内照明も極力少なく、自然照明で、仕上も昔の道具で仕上げて欲しい。 ・マイクで話せなかったが3点 <p>1.馬を停める場所を。明治の名古屋駅には馬車止を設置するよう鉄道誌に記してあった。</p> <p>2.仕上は素じのままが良い。ピカピカをなくす。</p> <p>3.バリアは、人力車の時代に考えた場合 カゴで運ぶような方法は？</p>
市外	70歳代	理解が深まった	理解できた	<p>木造復元できたらうれしいです。</p>
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できた	<p>復元が当初計画より相当遅れています。寄付をした本人ですが復元がいつになるかいつも気にしています。命のあるうち何とか復元を実現してもらいたい。復元についてもう少し</p>

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				具体策を新聞などに出して欲しい。エレベーターの設置は絶対にやめて欲しい 詳細な図面が残っているのであくまで史実に忠実な復元をお願いしたい。
市外	70 歳代	理解が深まった	理解できた	市内に縁があり、昔お城が有るということは木造であっても鉄筋であっても残っていて欲しい。福祉等にお金が沢山必要な今木造に掛る費用が心配 早く出来上がると良い
名古屋市内	80 歳以上	理解が深まった	理解できた	戦前のお城が思い出されます 立派なお城を希望します。以前は城の外の濠のわも充分ありました 有難うございました。
名古屋市内	70 歳代			
名古屋市内	60 歳代	理解が深まった	理解できた	・市長の言葉にもあった「世界唯一正確に復元できる木造天守」を早期に実現して欲しい。 ・バリアフリーに配慮は必要だが、正確な復元を最優先に、”本物を造る”ことが名古屋の将来の大きな財産になる 将来の名古屋人のためにもしっかり早く作って欲しい。
名古屋市内	50 歳代	理解が深まった	理解できた	・名古屋城の復元には多大な費用がかかるため、寄附金を集めるための工夫をお願いしたい。チラシのひのき製御城印の進呈は良いアイデアだと思う。大河ドラマとタイアップし、岡崎城・浜松城・駿府城などに木造復元のための募金箱を設置できないでしょうか。 ・名古屋城の天守閣木造復元を楽しみにしています。頑張ってください。
市外	30 歳代	理解が深まった	理解できた	今回の市民向け説明会を聞いてさらにきょうみが持ちました。
名古屋市内	80 歳以上	理解が深まった		・多くの質問があつてよかった ・市民のカンシンが高いと思った

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	30歳代	理解が深まった		<ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答もはっきりとわかりやすく話して頂き、主幹の民様はさすがだなと思いました。 ・家族みんな元気なうちに見てみたいと思っておりますが、あと何年ぐらいで復元できますか？
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	<p>天守のみならず本丸全体の復元についても具体的な期日、方法等も聞きたくなった。ぜひお願い致します。（本丸全体の復元計画がある事初めて知りました。楽しみです）</p>
市外	70歳代			<p>服部先生のお話は、石垣など初めて聞く話であり、大変興味深かった</p> <p>バリアフリーの問題は、新聞等で市長の発言を見ると、納得できないものがあるが、本日の話で事務方の真シな態度が理解できた。難かしい問題だが、お話を聞いて、今右のことも納得できるだろうと思う。</p>
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	<p>多くの意見があり充実してました。今後に期待します</p>
名古屋市内	40歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できた	<p>リフトで1階～2階に上がるやり方で充分天井に上られない人の為に折ちゅう案を考えてくださいようする事</p>
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	70歳代	理解が深まらなかった	理解できなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・計画が進んでいるようだが木造復元になぜここまでこだわるのか理解に苦しむ ・「市民の市民による市民の為」になることなのか…？大いに疑問である ・資金面が心配 後生にかこんを残さないように
名古屋市内	60歳代	どちらでもない	どちらでもない	<p>事業の先があまり見えず、少しがっかりした。</p>
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	<p>今後の計画、予定（見通し）の説明がほしかった</p>

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	50歳代	どちらでもない	どちらでもない	バリアフリーに関して、今のところ小さなサイズの昇降設備を考えているようですが、新しく建てるのであれば、いざという時の為に担架が入れるサイズのエレベーターが必要だと思います。
名古屋市内	50歳代	どちらでもない	どちらでもない	<p>・木造復元については、本当のところどうなっているのか、疑問に思っています。市長がやる気なのはわかりますが、名古屋市の職員の方は本当は「どちらでもいい」や、「なるべくやりたくない」などと思っているのではないですか？仕事なので仕方なくやっているとか中止になるのを待っているということはないですか？金額も高額ですし、川村市長の任期も決まっているので、このまま自然消滅ということになるのではと、少し思っています。職員の方は城好きの方なのでしょうか？</p> <p>・バリアフリーの件は、特別日をもうけて、ゆっくりと丁寧にまわってもらおうようにして、木造部分はさわらないようにして欲しいです。姫路城、松本城は障害者の方にどう対応しているのですか？</p> <p>・来場者に若い人がすごく少ないのですがその点はどう考えていますか？大丈夫ですか。</p>
名古屋市内	70歳代			<p>(疑問点) 1. 史実に忠実な復元となれば、バリアフリー等の安全確保(公開前提の設備設置)と矛盾するのではないか。両立について回答されてはいるが、利用できる人数はとても少なそうである。</p> <p>2. 天守のみの木造復元にとどまらず、本丸復元は果てしなく資金がふくらむのではないか。櫓の復元とかの案も提示されているので。</p> <p>3. 限りある財源・税金の使い方として、他の福祉予算等を圧迫させてしまう恐れがあるが</p>

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<p>いかに。他に優先すべき事業がないがしろになるのではないか。</p> <p>4. 観光目的・名古屋の活性化への期待等の話が世論の大半のように感じられる。本日の説明では、ギャップが大きいと感じるが、いかなものか。</p> <p>5. 寄附を募るのなら、どのように生かされるのか透明化は必須。同意を得られるようにどのようにアピールしているのか。</p> <p>(感想) 木造復元について関心が高まった。今後の進捗状況を見守りたい。本日はありがとうございました。</p>
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・階毎のバリアフリー昇降に賛成します ・車椅子のサイズの検討をお願いします ・いつの年代の外観にするか検討をお願いします
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	<p>天守閣復元もだいじと思うが本丸、二ノ丸含む全体で復元の計画を考えてほしい。</p> <p>※本丸の表一ノ門とか多門櫓とか。</p>
名古屋市内	80歳以上	理解が深まらなかった	理解できなかった	<p>チチとして進まな理由をききたかったが話してくれなかった。いつごろできるのか。木造にする問題点は、文化庁に聞かなくとも、名古屋市でほとんど予想が可能と思う。「ハがゆい」市長を苦しめるために政治的にじゃましているように思えてならない。市長さんも在任中に方針をたて、職員に号命かけて下さい。のんびりしているときょう聞きにきた人はいなくなります。競争がないのでのんびりしている。「コスパ」もあるが「タイパ」が大切。完成までのスケジュールを示してほしい。</p>
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	どちらでもない	エレベーター問題の深さが判った。バリブレも必要なのか？

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
市外	40 歳代	理解が深まった	理解できた	復元に真しに地道に御検討されていると感じました。いくつか懸念していた点も確定的ではないにせよ、よりよいものにしたいという粘りを感じられよかったです。天守が再び成ることを期待し、また、多くの人々が納得できるものとして再建されることを願います。
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究センターは実績を公式 WEB への掲載をお願いします ・木造復元は一步ずつ着実に進めてもらいたい
名古屋市内	60 歳代	どちらでもない		この説明会は何のためにしたのか意味不明です。
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	80 歳以上	どちらでもない	理解できた	講演者の声が小さくあまり聞きとれなかった。
名古屋市内	70 歳代			
名古屋市内	80 歳以上	理解が深まらなかった	理解できなかった	
名古屋市内	80 歳以上	どちらでもない	理解できなかった	
名古屋市内	60 歳代	理解が深まらなかった	どちらでもない	コート紙の資料は書きづらいので上質紙をお願いします。
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	どちらでもない	
名古屋市内	70 歳代	理解が深まらなかった	理解できなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の状況が日々変わる今日、費用の面上昇が考えられるが、どうするのか？ ・他にも色々市民の為にすることはないのか？ ・城好きとしては、ぜひ復元して欲しいが、天守も含めて櫓、多門櫓も揃った城が見たいが…。

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	30歳代	理解が深まった	理解できた	全国でも類を見ない本物の城ができることに大きな期待しています。最高の木材で最高のシンボルができると思います。
名古屋市内	30歳代	理解が深まった	理解できた	バリアフリーが必要な方が年間1%程ということで利用者数が少なすぎるのに対し、エレベーターを作るとそのままの復元にならない上に、メンテナンス費用、など費用の割にバリアフリー化するメリットがないと思われます。不必要だと思います。 <u>本物の</u> 復元にしてほしいです。
名古屋市内	70歳代	どちらでもない	理解できた	バリアフリーがむずかしいことがよくわかりました 個人的には、復元ならエレベーターはつけないほうがよいのかと思います。
市外	40歳代	理解が深まった	理解できた	おつかれさまでした！
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	バリアフリーの新技术について、動画やCGなどをWeb上で公開してもらえると理解が深まるのではないかと思います。
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な整備内容に関する質問があってよかった ・質問の代読は温かみがあって好ましかった ・第8章のとりまとめに向けて引き続き頑張ってください ・反対派の質問のオンパレードではなく、友好的な質疑応答となり市民に進捗状況を正確に伝えるために、動画での公開にも寄与することになると思います
名古屋市内	20歳代	理解が深まった	理解できた	スライドの字が見にくく、大きくしてもらいたい。名古屋市の説明はわかりやすかった
名古屋市内	30歳代	理解が深まった	理解できた	加藤清正が令和を生きていたらエレベーターもバリアフリーも考えて作っていたと思うので、新しい伝統建築を作り出して欲しい。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	木造天守復元に対する市民の熱意が全くないように思います。名古屋開府400年の時のような、市中いたるところでイベントが開催さ

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				れ市民の中に熱気はあった気がします。木造復元事業にも新しいマスコットキャラクターを作り築城まで突進して欲しい。
市外	60 歳代	理解が深まった	理解できた	質疑応答の時間によりよく理解できた。
市外	50 歳代	どちらでもない	理解できた	木造復元について関心が低いのでは？と感じていたが質問のレベルが高く、思っていたより一般市民の木造復元の関心が高いと感じました。やぐらや門の復元も早急にすすめてほしいです。
市外	20 歳代	理解が深まった	理解できた	たくさんの市民と市の職員が直接関われるこのような機会を大変有難く思います。これからも名古屋城の復元に関する情報を発信頂きますと幸いです。バリアフリーとの両立が難しいと思いますが、昔の名古屋城と同じにしたい気持ちも分かりますが、今の時代は令和ですので、今しか作れないものを作るという意味でも頑張ってもらいたいと思います。応援しています。また、名古屋おもてなし武将隊が来て下さってとても嬉しいです。これからも尾張名古屋を盛り上げて本当に世界の都市になることを夢見しています。
市外	40 歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できなかった	早く出来る事を願っています。
市外	50 歳代	理解が深まった	理解できた	説明内容は、よく理解はできましたが、時より早口な内容の説明となったりして、もう少し言葉に余裕のある話しを進めてほしい面もありました！！ですが、難しい内容をより分かりやすく話を持ち上げられる所はとてもよかったです！！
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	どちらでもない	<ul style="list-style-type: none"> ・服部先生の資料もいただきました。後ほど Web ? Paper の形でほしい。 ・今後とも市民の意見を適宜取り入れ、進捗状況を広報フィードバックしてほしい。

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できた	誰でもが登れる城造りと一部でさげばれているが、全員が昇れるという事と史実の復元とは相入れないところがあると思う。松本城でも犬山城でも天守の最上階まではEVも設置は無理と思われるので、本造での限界もあると思う。昇れない人まで上へあげるとは言いすぎでないかと思慮する。私も年令的に完成していても多分最上階へは昇れないと認識している。募金した身としては、一刻も早く完成が見たい。ないものねだりする人への配慮も当然としても、それ相応の限度を容認すべきと思う。コンクリートは石の文化の模ほうと思う。現代の建築は寿命が短かすぎるように思う。
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	復元に何年ぐらいかかるか想定でもいいのでおきかせください。
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できた	完全忠実な復元を期待します。時代の流れにまどわされないで下さい。天守閣の築られたままな形をのこしたい。尾張藩のがんこさを示して下さい。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	どちらでもない	城の保存は大切だが焼失したのも現状。元の凶面が残されていたことは大切なことですね。復元することも大切ですが木造にこだわることはないし現世の苦しい状況の中で進め方にも配慮が必要ではないか。丁刃けずりは今もできます。
名古屋市内	80歳以上	理解が深まらなかった		天災の為、大破した熊本城の復旧作業は3~4年後には立派な城が完成したことは誠に県議市議市民の情熱が素晴らしく感じました 所で名古屋城再生に就いては、人災の空爆による焼失した国家事業であるにも関わらず、少しも前進しておらず誠に残念に思う 木造の昔のままの建築が本当で市長の意見に大賛成である。エレベーターやエスカレーター等は大反対である

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	50歳代			<p>天守に入城できなくなっずいぶんたつのに、全く動きがなく、どうなっているのだろうと（休みが合ったので）チャンスと思いききにきました。来場の機会をつくってくれたのは武将隊の家康さまがおもてなしにくる、との発表があったためでもあります。</p> <p>いろいろな話がきけてよかったです。でもまだまだとりこわしも先なんです。木材の乾燥もあるのですね…。とりこわされるのたのしみにしています。建てる方が長い時間かかるでしょうし。</p>
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	<p>壮大な木造建築、夢のような計画にとっても期待していました。どうなっているのかなーと思っていました。今日お聞き出来てありがとうございます。文化庁は何故なかなか許可しないのかなと。昨今の国際キ格をみながら、いささか疑心暗鬼も抱いております。早めに進むといいなと祈願しております。</p> <p>明治初期の城かく解体は本当に残念でした。外国にならう余り自国の文化伝統に自信をもてない思考は改められるべきと思います。今もそうですが。</p> <p>グローバル化で国らしさが軽んじられる風潮ですががんはって建築できますように。</p>
名古屋市内	60歳代	どちらでもない	どちらでもない	<p>・史実に忠実な復元とバリアフリーで昇降機を天守内に設置する意味が理解できない。障害者への配慮は当然すべきであるが、テーマパークのアトラクション設備ではない。忠実な史跡の復元にはたして昇降設置は必要であろうか？もし設置するのであれば天守外側に現状のエレベータ（1階まで）のようなエレベータ設備でもいいのでは。どうしても内への設備設置なら、何も忠実な（材料とか）復元ではなく今のコンクリート製で充分では。</p>

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				とにかく本丸御殿のように、忠実に復元された天守内部を見てみたい。
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	このような場を設けていただき大変ありがたいです。復元は長い道のりですが定期的に市民に広く知らせてくれる場を今後もお願いできればと思います。このたびは開催していただき誠にありがとうございました。（家康様、なつ様にもお会いできて嬉しかったです）
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	70歳代	どちらでもない	理解できた	これまでの経緯を詳しく知らなかったので説明をきき、概その流れを知ることができた。しかし、復元に向けての問題点やその対応については、未だ不明である。私は諸々の疑問はあるものの、木造復元は原則賛成である。しかし、現代において生じる課題（例えばバリアフリー問題）を真しに議論し、よりよい方策—場合によっては部分的中止も含めて—を決めていってほしい 感情的に始めから「観光資源を求めて復元あり」とはしないでほしい。—多くの国民市民の宝なのだから—
名古屋市内	80歳以上	どちらでもない	理解できた	中味の具体的な内容の説明が無かったのが残念。
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	どちらでもない	
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・服部所長の話は、ご自身の体験談を含め貴重。服部先生にはこれからも永く名古屋城調査研究センター所長を続けていただきたい。所長としてだけでなく、何かお話ししていただける機会を作っていただき、名古屋城や名古屋市との関係を切らないようにして下さると嬉しく思います。 ・質問までの休けいが長すぎるのでは。けっこう帰ってしまった人がいるのでは？

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<ul style="list-style-type: none"> ・河村さんの話はかえってマイナスと思う。建物だけが名古屋城のみりよくではない。追陳。 ・武将隊の説明長すぎる。彼らの背景には歴史がない。しゃべり方もただうたがわしいのみ。うそくさい。
名古屋市内	20歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	60歳代	どちらでもない	理解できなかった	
名古屋市内	50歳代	どちらでもない	理解できた	<p>天守閣の最上階に登るのが大切な事と思えないので「皆、登れません」でいいと思う。上の様子を下で展示すればいい。</p>
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーは不要（エゴである）あくまでも本造復元が主で一切の設備は設置すべきでない。高令者・障害者のエゴである。設置するぐらいなら今のままでよい（チョット言いすぎか？） ・私も心ぞうが悪く出来たとしても天守まで登れるかどうか、自分でのぼれないなら止めておく。富士山にエスカレーターを設置するようなもの。反対します。 ・バリアフリーにすることで国宝にならない様なら作る意義なし。
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できた	<p>従来エレベーターが設置してあるものを間に合わせて昇降機を付けても登り者数が減少し、従来の半分以下になってしまう。やる以上は大阪城の1/3位になってしまうは何もならない。今まで通りエレベーターを残しても現代の基準では十分に国宝になります。奈良大学千田教授の意見を聞いて早期着取していただきたい。（名古屋城中級検定試験合格）名古屋城入場収益ではとても借金を返還できない。</p>

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解でき た	私も 7 8 才になった！早く作ってほしい！！ (バリアフリー) もステキ！
名古屋 市内	50 歳代			完成された木造天守閣が生きているうちに見 たいです。早く進めて欲しい。もちろんより 良い方法で。
名古屋 市内	50 歳代	理解が深 まった	理解でき た	色々な意見があり、それに対しても丁寧な対 応で答えられていたと思います。木造の天守 閣も楽しみですが、コンクリートの天守が改 たいされるのも悲しくなります。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解でき た	実現まではまだまだ時間がかかるが、ぜひ完 成させてほしいです。
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解でき た	
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解でき た	
名古屋 市内	80 歳以 上	どちらで もない	どちらで もない	

③オンライン説明会

※空欄は無回答

居住地	年代	市説明の理解度	自由回答
名古屋 市内	60 歳代	どちらでもない	<p>多額の費用をかけ、国際的な公募まで行った昇降機技術について、</p> <p>一部の階層への昇降にとどまり、特に日弁連が求めていた人権救済の申立を満足させていない。</p> <p>https://www.nichibenren.or.jp/document/complaint/year/2022/221024.html</p> <p>地上から1階へのアクセスを公募条件としなかったことで、</p> <p>車椅子利用者は事実上中に入れられないということであり、公募条件自体が酷く歪んでいる。</p> <p>今回の公募によって、現代の技術では「史実に忠実な再建」と、</p> <p>「人権に配慮した公共建築の条件」とは両立しないことが明確となった。</p> <p>これ以上の浪費を防止するためにも、即座に計画を中止すべきである。</p>
市外	20 歳代		<p>名古屋城天守には広島大学名誉教授三浦正幸教授がエレベーター等は、付けるのは難しいと言われてはいますが、どのようなお考えでしょうか？</p>
名古屋 市内	70 歳代	どちらでもない	<p>30分前に会場に行ったら満席で入れてもらえなかった。事前申込みにすべきではなかったか。交通費を使ってアウトでは納得行かない。会場外でライブ放映するとか、満席の場合の対策を検討すべきだ。</p>
名古屋 市内	60 歳代	理解できた	<p>私は、昔の姿のままの木造復元に大賛成している者です。そして、ここ数年説明会にも出席しています。</p> <p>そのうえでの意見も発言させていただきます</p> <p>① 説明会の開催頻度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までは複数回開催されていたので都合の良いときに出席できましたが、今年度は1回のみ開催となりました。

居住地	年代	市説明の理解度	自由回答
			<p>・いろいろ理由があるでしょうが、来年度以降も1回だけの開催となるのでしょうか。</p> <p>・できたら、都合が悪い場合に備えて、最低でも2回開催していただくわけにはいかないでしょうか。</p> <p>・それができないのであれば、もっと早く開催予定日を公開してください。今年度は(確か)昨年12月(11月?)になっても、全然説明会の日程が公表されないので、今年度は実施しないのかな(?)とっていました。</p> <p>② 当日の質疑応答の内容について</p> <p>・バリアフリー等の対応が必要な名古屋城入場者の割合について、平成30年度は1%と回答されていましたが、この根拠となる内容を具体的にお示してください。</p> <p>・確か、質問は元々「車いすの人の割合」だったと思いますが、この1%という回答は「障がい者割引適応者」ではないのでしょうか。</p> <p>・私としては「車いす」等のためエレベータが本当に必要な人がどれくらいいるのか教えていただきたいと思います。</p> <p>・私は年間パスポートを持っていて結構頻繁に名古屋城に行くのですが、記憶に寄れば、(たまたまかもしれませんが)一度も車いすの人を見かけたことがありません。1%ということは100人に一人ということになりますが、それだったら過去に何回か見かけてもよいような気がします。</p> <p>・当然、割合が低いからといって見捨ててよいとは思いませんが、少数の(声が大きい人に引っ張られて)エレベータにこだわって歴史的価値を損なってよいとは思いません。</p> <p>・天守閣に上がるだけがすべてではないと思います。この先、木造天守閣が完成したときに、自分が年取っていたために天守閣に上がれなくて、見上げるだけでも良いと思っています。天守閣に上がることだけにこだわっていない人もいることをわかってください。</p> <p>③ 名古屋城検定について</p> <p>・毎年上級を受験しているので、今後も続けていただきたいと思います。</p> <p>・一時期、本丸御殿が完成したときに検定をやめるような話もあったと思いますが、少なくとも、木造天守の復元が</p>

居住地	年代	市説明の理解度	自由回答
			<p>完成するまでは続けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験者数が減ってきているような気がしますが、いろいろな手を考えて広めていってください。 ・そして、名古屋城の記録が充実してありし日の姿のままに復元できることや、名古屋城のすばらしさを検定試験を通じて、周知していただきたいと思います。 <p>④ 本丸御殿について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今でも、御殿に入ると、襖絵や天井画の作成中の場所があります。予定している本丸御殿のすべての復元が完成する予定はどうなっているのか、スケジュールをお示してください。 ・先日、孔雀の間で開催されたイベントに参加しましたが、孔雀の間の襖絵は何もありませんでした。孔雀の間の襖絵は復元する予定はあるのでしょうか。 ・本丸御殿の中を見て回ると、障子の破れができたり、きずがついたりしているところが出てきています。名古屋城そのものも、江戸時代～現在に至るまで、いろいろな修理の積み重ねで成り立っていると思います。したがって、毎年予算を取って、本丸御殿に痛んだところができたら、その修理をこまめに早め実施するようお願いいたします。（最近の高速道路のように定期的に補修をかけてもよいと思います。）
名古屋市内	50歳代	どちらでもない	<p>報道によれば、市長河村は、説明会において木造計画に賛成する市民は「郷土愛」があるかのような発言をしたようだが、</p> <p>木造化に反対し、現存する天守建物を維持しようという意見も郷土愛から出たものであり、かかる発言を謝罪し、訂正せよ。</p> <p>報道によれば名古屋城総合事務所の上田剛所長は「本年度中に基本計画を取りまとめ、新年度に文化庁に提出する」としているが、日弁連の2022年10月24日要望事項と、今般明らかにされた昇降機のための新技術の国際公募の結果（足掛け3年、ステップナゴヤ新設に約1億円の経費をかけた）では、矛盾は解決されておらず、結果として</p>

居住地	年代	市説明の 理解度	自由回答
			<p>現代技術では「史実に忠実な復元」と「法に準じたバリアフリーの実現」は両立し得ないことが明らかとなった。木造化の是非を含め、計画の見直しを行うべきである。</p>